



このまち思いエネルギー。

広島ガス

広島ガス CSR報告書

Corporate Social Responsibility Report

2023



持続可能な社会を
私たちの手で…

CONTENTS

CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方	1
TOP MESSAGE	2
経営理念体系	3
・ 広島ガスグループにおけるSDGsの取り組み	5
事業戦略	
・ 広島ガスグループ「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」	7
・ 中期経営計画	11
TOPICS	13
・ 廿日市市との特定送配電事業	
・ 住友重機械工業株式会社とLAES商用実証の共同実施	
・ J-クレジット制度を利用した「エネファームの導入促進によるCO ₂ 削減事業」	
・ 株式会社広島銀行との広島県内企業のカーボンニュートラル対応支援に向けた業務提携	
・ 子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得	
経営分野	
都市ガス事業フロー、供給区域と体制	15
都市ガスの安定供給に向けた取り組み	17
お客さまの安心・安全に向けた取り組み	18
防災対策	19
広島ガスグループの経営体制	21
連結財務データ	23
環境分野	
環境マネジメント	27
環境目標	28
お客さま先でのCO ₂ 削減への貢献	29
再生可能エネルギーの普及拡大	31
事業活動に伴うCO ₂ 排出量削減	32
廃棄物の削減、資源の有効利用	33
地域環境保全への貢献	34
バリューチェーンの環境負荷(2022年度実績)	35
気候変動への取り組み	37
生物多様性保全	38
社会分野	
地域社会の発展への貢献 (芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援)	39
情報発信・お客さま満足度向上の取り組み	42
求める人材像 「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」	43
働きやすい職場環境をめざして	44
労働安全衛生の取り組み	45
CSR報告書2023によせて	46
広島ガスの概要	47
広島ガスグループの概要	48

CSR活動に対する 広島ガスグループの基本的な考え方

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的、かつ安心して安全にお使いいただくという、社会的責任の高い事業を行っています。その事業遂行そのものが、大きな「社会的責任」であり、事業活動を通じてSDGsの達成に幅広く貢献したいと考えています。

今後も、持続可能な社会の実現に向け、ガス体エネルギーの積極的・効率的利用による累積CO₂の低減に邁進するとともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた事業基盤の改革・強化に挑戦していきます。また、社会貢献活動や、コーポレート・ガバナンスの充実など、ESG(環境、社会、ガバナンス)を意識した経営を通じて、お客さま・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、選ばれる企業グループをめざします。

広島ガスCSR報告書2023

発行にあたって

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献などのさまざまな社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)を果たしてきました。近年は、CSRを一つの指標として企業を評価するなど、CSR活動の重要度は一層高まっています。

広島ガスでは、2000年度からこれらの活動内容を経営分野と環境分野の両面から開示することを目的に、報告書を発行してきました。その後、2005年度から、「CSR報告書」として「経営」、「環境」、「社会」の3分野で構成しています。

また、SDGsに関連する広島ガスの取り組みについて、該当するSDGsのアイコンを記載しています。

【報告対象】

【範囲】 広島ガスおよびその関係会社からなる「広島ガスグループ」
【期間】 2022年4月から2023年3月までの活動(一部、2023年度の実績を含む)

【参考ガイドライン】

- 環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
- 金融安定理事会「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)最終報告書」

TOP MESSAGE トップメッセージ

広島ガスは1909年の創業以来、地域に根差したエネルギー会社として、地域の皆さまに支えられて発展してまいりました。広島ガスグループが果たすべきCSR(企業の社会的責任)とは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、エネルギーの安定供給と保安の確保を柱とした事業活動を展開していくことであると考えております。

CSRには「経営」、「環境」、「社会」の3つの側面があります。経営的側面では、エネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応する経営計画の策定・実施を、環境的側面では、天然ガス・LPガスの普及拡大、再生可能エネルギー電源の開発などの事業活動を、社会的側面では、社会貢献活動および的確・迅速な情報発信を推進しております。

エネルギー業界を取り巻く環境は、2030年ビジョン策定から今日に至るまで、劇的かつ加速度的に変化しています。昨今では、LNGの調達において、過去に類を見ない地政学的危機に直面し、広島ガスグループ一丸となって不測の事態が生じた場合のさまざまな対策を検討・実施してまいりました。エネルギーを安定して供給するという使命を果たすため、引き続き、原料調達先の多様化も含め、中長期的な原料調達の安定化に努めてまいります。

そして、急速な脱炭素化の潮流に乗り、環境保全に貢献していくことが企業価値として求められており、広島ガスグループでは、この潮流を成長の機会ととらえ、経営戦略上の重要な位置付けとして、2021年11月には「広島ガスグループ2050年カーボンニュートラルへの取り組み」を公表しました。

広島ガスグループは、「2030年ビジョンの実現」と「2050年脱炭素社会の実現」に向けて、以下にお示しする3つの大きな柱を軸とし、「グループの力を結集」して諸施策に取り組んでまいります。

1. 「ガス事業の深化」

2050年までのトランジション期において、広島ガスグループは、これまで進めてきたガス「天然ガス・LPガス」の積極的・効率的利用により、「CO₂削減」に貢献します。

2. 「イノベーションの創出」

脱炭素社会の実現に向けて、今後の成長分野と位置づける「再生可能エネルギー電源の開発」や「グリーン電力の供給」、さらには、森林保全活動などを通じた「CO₂排出量の低減と吸収」に貢献する事業展開を着実に実行します。

3. 「経営基盤の強化」

デジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組みを推進し、グループ全体での「組織機能の最適化」と「業務の高度化・効率化」を確実に進め、価値創造の源泉である人的資本の確保に向けて、業務改革を実行します。

また、地域のエネルギー供給を担う事業者の使命である、「保安の維持・向上と安定供給の確保」にも引き続き注力し、インフラ整備や現場力の向上などを通じて、お客さまの安心・安全の確保に努めてまいります。

地域に根差した広島ガスグループが、持続的に発展していくためには、地域の活性化が不可欠であると認識しております。本業であるエネルギー供給の着実な遂行に加え、お客さまや地域の皆さまとのつながりやふれあいを大切にし、地域の芸術文化、教育、スポーツ、環境分野などにおける社会貢献活動と情報発信に取り組んでまいります。こうしたESG経営・SDGsを意識した取り組みの推進と、「イノベーション」を通じた脱炭素社会の実現に向けて「このまち思い」な「まちづくり」に貢献してまいります。

広島ガスグループは、地域社会の発展と持続可能な社会の実現に向けて、グループ役職員一丸となって、業務に精励し、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれる企業グループであるために、企業価値の最大化を図るべく、これからも果敢にチャレンジし続けます。

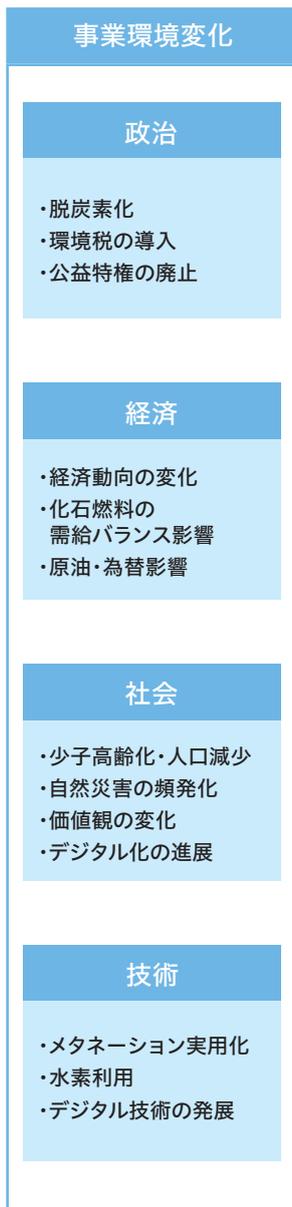


代表取締役社長 社長執行役員

松藤 研介

2023年7月

経営理念体系



広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言 ~笑顔あふれる未来へのAction~

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、実効性のあるコーポレート・ガバナンスに取り組み、国連が提唱する「持続可能な開発目標」に賛同し、「このまち思いエネルギー。」という企業スローガンのもと、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2020年10月30日
広島ガスグループ



広島ガスグループ SDGs重点取り組み項目

エネルギーの普及拡大・安定供給

基幹事業であるガス体エネルギーの普及拡大・高効率利用・安定供給などを通じて、持続可能な社会に貢献してまいります。

【主な取り組み項目】

- ①ガス体エネルギー(天然ガス、LPガス)の普及拡大と高効率利用の推進
- ②ライフラインであるガス導管を通じての安定供給の強化
- ③保安レベルの向上、災害対策およびレジリエンス機能の強化
- ④デジタル技術を活用したお客さまサービスの充実
- ⑤新規事業の展開







広島ガスグループ2030年ビジョン (ビジョンスローガン) 幸せにつながる感動発信

2030

2050

2030年ビジョン基本方針

1
経営施策を通じた
感動追求

2
エネルギーサービスを通じた感動追求

3
安心を通じた
感動追求

4
人とのつながりを通じた感動追求

2030年ビジョン基本戦略

チャレンジ1

総合エネルギー事業の拡大で、
地域社会の元気を支えます。

チャレンジ2

環境貢献につながる事業展開と、
次世代エネルギーの研究に取り組みます。

チャレンジ3

デジタル技術の活用で、社会や暮らしに
活きる高付加価値を創造します。

チャレンジ4

人を育て、地域の力となる
プロフェSSIONAL集団になります。

チャレンジ5

常に安心安全を課題に、
「もっとできること」を追求・実現します。

チャレンジ6

地域の皆さまと共に
「理想のまちづくり」をお手伝いします。

2050年
カーボンニュートラルの実現

広島ガスグループ
「2050年カーボン
ニュートラルへの取り組み」



SDGs達成

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

広島ガスグループ
このまち思い
SDGs実行宣言
～笑顔あふれる
未来へのAction～

地域社会への貢献

広島ガスグループは、これまで110年以上にわたって、地域の皆さまと共に歩んでまいりました。今後もこのまちとのパートナーシップを推進し、地域社会の発展に貢献してまいります。

【主な取り組み項目】

- ①地域の文化・芸術、スポーツ振興への貢献
- ②防災教育・次世代教育・子ども食堂等の取り組みの推進
- ③国際平和都市広島への貢献

環境保全

環境にやさしい天然ガスの普及拡大に加え、バイオマスエネルギーをはじめとする再生可能エネルギーの普及拡大や森林保全活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【主な取り組み項目】

- ①再生可能エネルギーの普及拡大
- ②地域環境保全活動の推進
- ③森林保全活動の推進

働きやすい社会のために

労働安全衛生の取り組みの充実を図り、一人ひとりが働きがいをもって仕事に取り組み、成長し、活気のある職場環境の実現に力を入れてまいります。

【主な取り組み項目】

- ①働き方改革の推進
- ②労働安全衛生体制の充実
- ③人材育成への取り組み



経営理念体系

広島ガスグループにおけるSDGsの取り組み

SDGsの達成に貢献し、地域および企業の発展につなげていくため、SDGsに関するさまざまな活動に取り組んでいます。

●広島ガス「SDGsの取り組み」サイト ▶▶▶
<https://www.hiroshima-gas.co.jp/sdgs/>



1 「4つの重点取り組み項目」に基づく取り組み

エネルギーの普及拡大・安定供給

「緊急時対応技能コンクール」の実施



都市ガス製造工場では、緊急時におけるガス品質確保や操業継続に向けて、オペレーション技能の向上を目的としたコンクールを毎年行うなど、各種教育・訓練を実施しており、都市ガスの品質および安定供給の確保に努めています。

関連データ P18



緊急時対応技能コンクール

ガスメーターの再利用



お客さま先へのガスの供給に必要なガスメーターは、一定期間使用後、分解・整備・検査を経て新品同様の性能に戻されており、再びお客さまのもとに設置する「リユース」に取り組んでいます。

関連データ P33



再利用されたガスメーター

地域社会への貢献

行政などと連携した地域貢献活動



地域活性化に向けて、行政や地域の皆さまと連携し、さまざまな活動に取り組んでいます。2023年のG7広島サミット開催前には、開催機運を高めるために広島県内の官民で構成する広島サミット県民会議が企画した「ここから世界へ、ここから未来へ クリーンアップ運動」に参画し、皆実町地区の事業所周辺の清掃を行いました。

関連データ P34



G7広島サミット開催に向けた清掃

環境保全

「このまち思い 広島ガスの森」の整備



広島県緑化センター内に開設した「このまち思い 広島ガスの森」において、森林育成のための植林や除伐、森の大切さを伝える看板や休憩ベンチの設置、遊歩道の整備などに努めており、四季を通じて、地域の皆さまに憩いの場としてご利用いただいています。

関連データ P10、P34



森の大切さを伝える看板

働きやすい社会のために

職場のフリーアドレス化



働きやすい職場環境づくりをめざして、職場ごとにさまざまな取り組みを展開しています。呉支店においては、個々の席を設けず自由に働く席を選択することができるフリーアドレス化に取り組んでおり、業務の効率化やコミュニケーションの円滑化につながっています。

関連データ P44



呉支店事務所

2 SDGsの社内浸透(定着化)に向けた取り組み

行政・外部団体と連携した役職員参加型の取り組み

「このまち思い『ふれ愛プラザ』マルシェ&古布回収」の開催



広島県や広島県就労振興センターと連携し、県内の障がい者福祉事業所のアンテナショップ「ふれ愛プラザ」による社内販売会と、福祉事業所に寄付するための古布回収を、2022年度から行っています。食品や雑貨など福祉事業所で製作された商品の購入を通じて、各福祉事業所の取り組みを身近に感じることができ、障がいのある方の就労に貢献できる機会になっています。



このまち思い「ふれ愛プラザ」マルシェ&古布回収

リサイクル品の回収・寄付活動の実施



外部団体と連携し、使い捨てコンタクトレンズの空ケースおよびペットボトルキャップを回収・寄付しています。回収品は寄付先を通じてリサイクル用に売却され、その収益金は、角膜移植支援や途上国の子どものワクチン購入などに活用されています。また、リサイクルを通じて、CO2排出量の削減にも貢献しています。

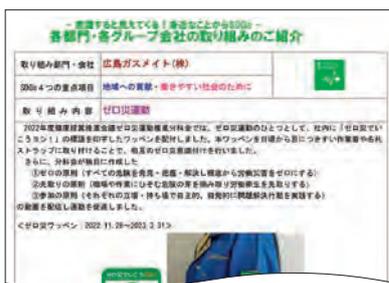


リサイクル品の回収

職場単位や役職員の私生活におけるSDGs活動の共有

各部門および個人(私生活)におけるSDGs活動の実施と社内共有

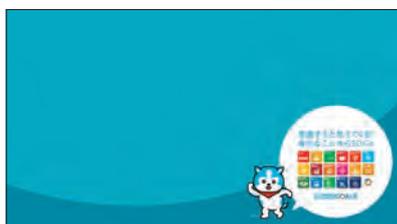
各部門および個人(私生活)の活動事例を、社内イントラネットを活用して広島ガスグループ内で共有しています。各々の取り組み事例を共有することで、SDGsを自分事としてとらえる活動の定着化とさらなる推進を図っています。



社内イントラネットでの掲載例

啓発ツールの活用

役職員が日頃からSDGs実行宣言を身近に確認でき、業務や私生活でSDGsを意識した行動を心がける啓発ツールとして、広島ガスグループ SDGs重点取り組み項目などを記載したパソコン画面用壁紙、マウスパッドやポスターを制作・配布し、活用しています。



パソコン画面用壁紙



マウスパッド



ポスター

広島ガスグループ「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」

2021年11月、広島ガスグループは、「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」を策定し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた中長期的な方向性や取り組みを示しました。

経営理念である、「地域社会から信頼される会社をめざす」を念頭に、当社グループ役職員が一丸となり、2050年カーボンニュートラルの実現、そして「このまち」のさらなる発展に貢献できるよう努めてまいります。

● 広島ガスグループにおける「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」

- 2030年までは、これまで実行してきた環境負荷低減に向けたさまざまなESG関連事業の取り組みを中心に、事業活動やお客さま先におけるCO₂排出量の低減を着実に推進していきます。
- 将来的には、メタネーションや水素の利用による「ガス自体の脱炭素化」に取り組むとともに、電源の脱炭素化も含め、2050年のカーボンニュートラルをめざしていきます。

● 2030年度目標

CO ₂ 排出削減貢献量	30万t/年 ^{※1}
再生可能エネルギー電源取扱量	6万kW ^{※2}
広島ガス事業所・製造所におけるCO ₂ 排出量	2013年度比50%減 ^{※3}

※1 当社およびお客さま先における2030年度時点のCO₂排出削減貢献量(2021年度～)

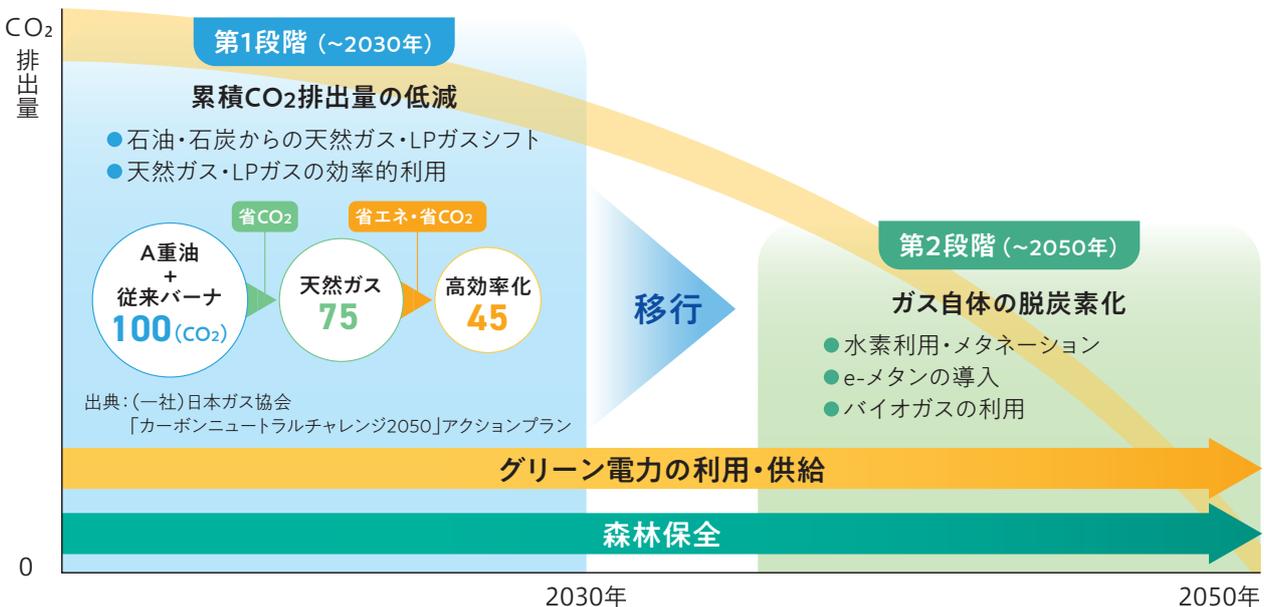
※2 太陽光、風力、バイオマスなど固定価格買取制度(FIT)の適用電源を含む

※3 CO₂排出削減貢献量 30万t/年に含む

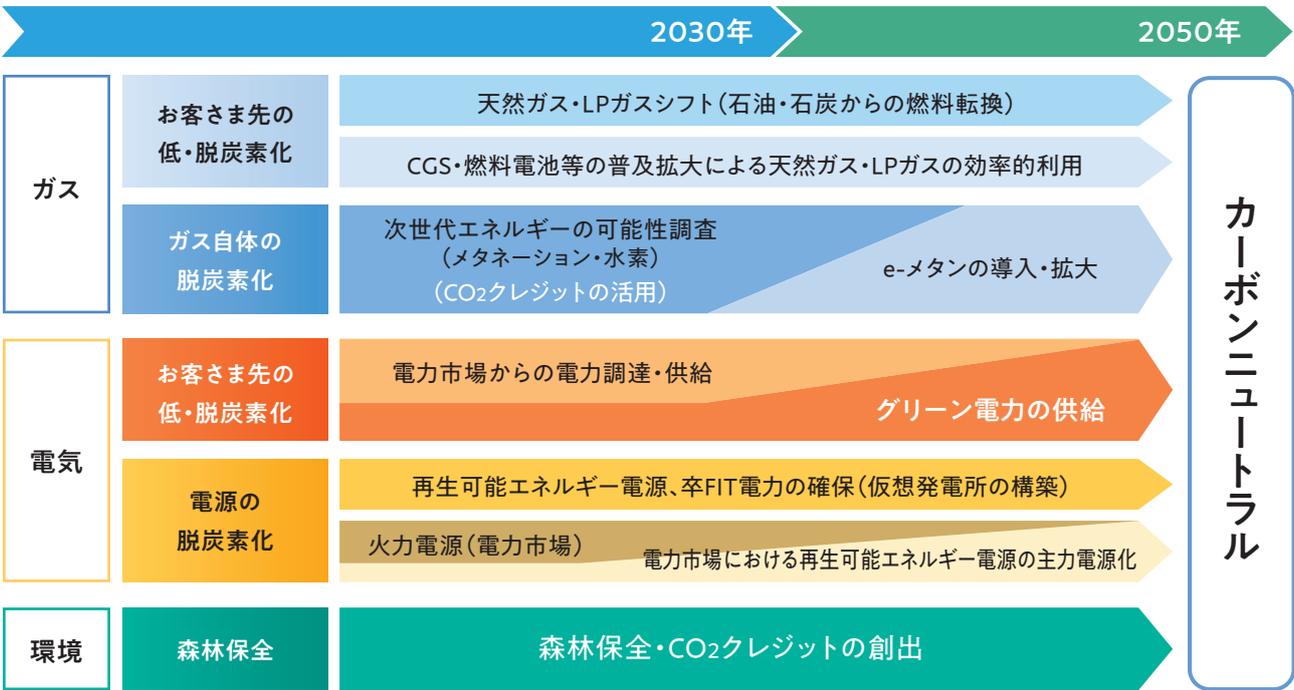
● 取り組みの基本的な考え方

天然ガス・LPガスシフト、天然ガス・LPガスの効率的利用による「お客さま先の低炭素化」を着実に進めつつ、e-methane(e-メタン)[※]の導入、バイオガスの利用を通じた「ガス自体の脱炭素化(供給側の脱炭素化)」へ移行していくことで、2050年のガスのカーボンニュートラル化に挑戦します。

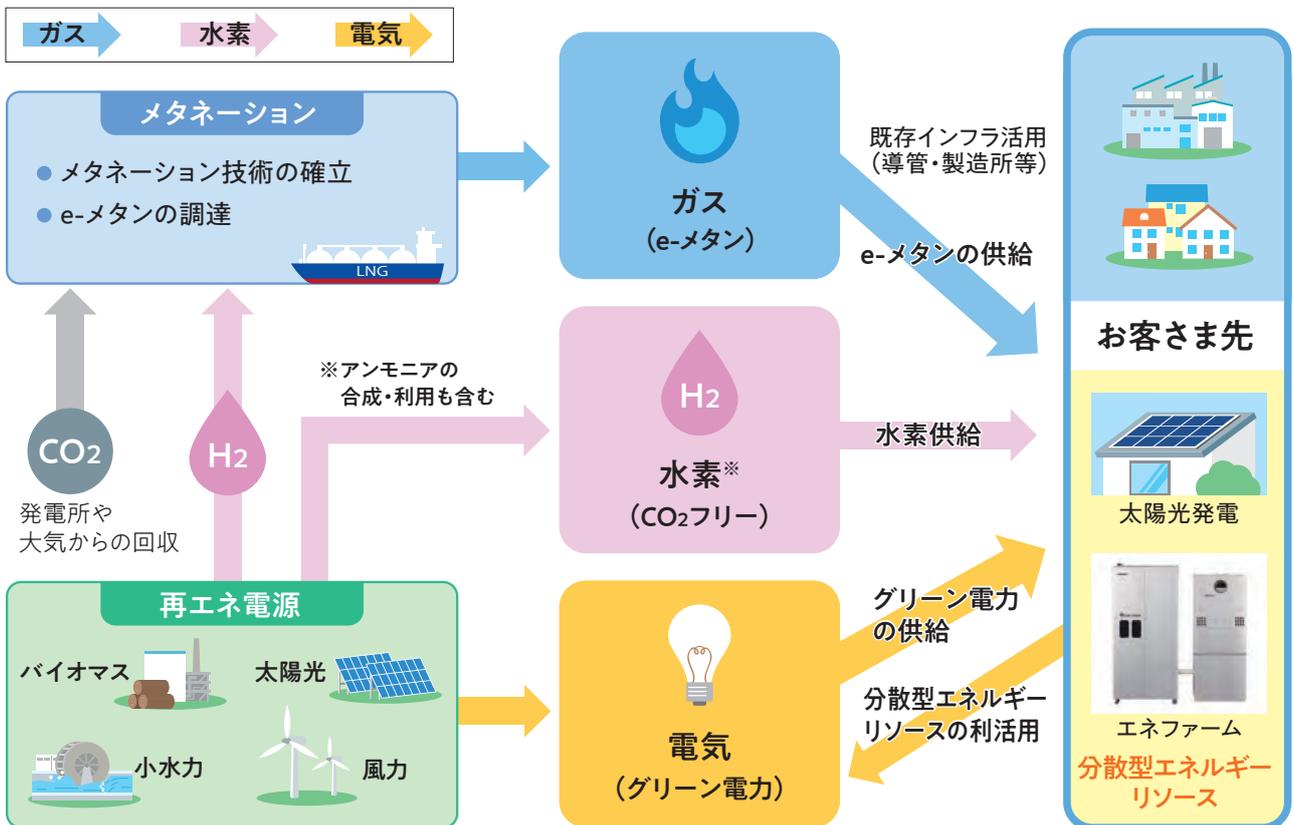
※脱炭素製造された水素とCO₂を合成したメタン



2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップ



カーボンニュートラル実現に向けたエネルギーシステムのイメージ



カーボンニュートラル実現に向けた具体的な取り組み

ガス

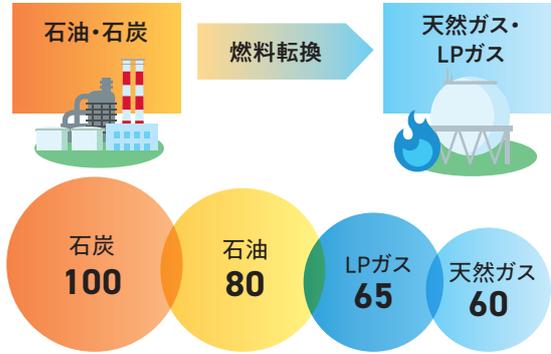
石油・石炭からの天然ガス・LPガスシフト
および効率的利用

- ◎ 石油・石炭から天然ガス・LPガスへの燃料転換
- ◎ 分散型エネルギーシステムの普及拡大
- ◎ LNGバンカリング※
※船舶用燃料としてのLNG供給。

ガス自体の脱炭素化

- ◎ 水素およびe-メタンの利用
- ◎ CO2クレジットの活用

石油・石炭から天然ガス・LPガスへの燃料転換
によるCO2削減ポテンシャル



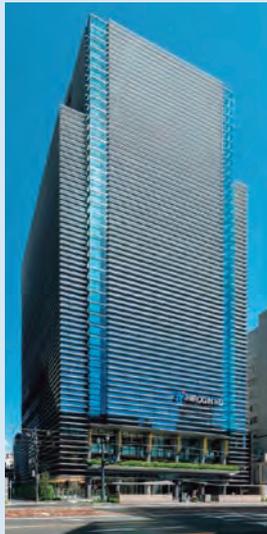
石炭を100とした場合のCO2(二酸化炭素)排出量

事例紹介

カーボンニュートラルな都市ガスの供給

2022年1月2日、天然ガスの採掘から液化、輸送、再気化、お客さま先での燃焼に至るまでの工程で発生するCO2を、マレーシアLNG社が保有するCO2クレジットを活用して相殺(カーボン・オフセット)したカーボンニュートラルLNG(以下「CNLNG」)を初めて導入しました。

本CNLNGを活用し、2022年度に、広島県内の4カ所へカーボンニュートラルな都市ガス(以下「CN都市ガス」)の供給を開始し、2023年4月から新たに5カ所へCN都市ガスを供給しています。



ひろぎんホールディングス 本社ビル(CN都市ガス供給先)

広島大学とのメタネーション共同研究

2022年8月、国立大学法人広島大学と共同研究契約を締結し、アンモニアを用いて、都市ガスの主成分であるメタンを製造するメタネーションの効率的な技術について研究を進めています。

本研究を通じて、地元大学と地元企業の産学連携で地域の脱炭素化の可能性を追求してまいります。



広島大学と広島ガスでのメタネーション共同研究関係者

電気

グリーン電力の供給体制の構築

- ◎ 分散型エネルギーリソースの普及・利活用
- ◎ グリーン電力の供給

事例紹介

グリーン電力の供給

2022年1月に小売電気事業者登録を完了し、2022年4月から当社グループ会社施設へグリーン電力の供給を開始しました。グリーン電力の供給を開始することで、事業者としてのCO2排出量削減に努めていきます。



電気

再生可能エネルギー電源の確保

◎ 再生可能エネルギー電源の拡大と多様化

事例紹介

再生可能エネルギー電源の導入拡大

海田発電所(バイオマス発電)

中国電力(株)との共同出資会社である海田バイオマスパワー(株)は、2021年4月から海田発電所の営業運転を開始しました。

本発電所は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT制度)を活用し、広島県内の林地残材などの未利用木材や、海外の木質系バイオマスなどを主燃料として燃料全体の80%程度利用し、年間で約8億kWhを発電しています。



海田発電所(バイオマス発電)

広島ガス志和堀発電所(小水力発電)

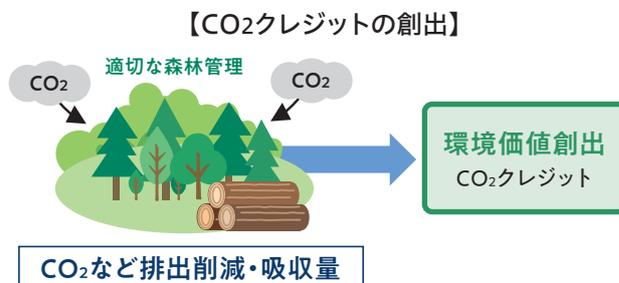
2020年10月に志和堀電化農業協同組合が保有する本発電所を取得し、設備の修繕や試運転を行った後、2021年6月から営業運転を開始しました。本発電所は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT制度)を活用しており、年間で約40万kWh(2022年度実績)を発電しています。

環境

「森林保全」を通じた「CO2削減」への貢献

- ◎ 森林保全
- ◎ CO2クレジット*の創出

※政府や企業間で取引される、森林保全や再生可能エネルギーの導入といった事業によるCO2などの排出削減量・吸収量を表したものです。



事例紹介

森林保全活動に関する近年の主な動き

2019年11月	広島県緑化センター内に「このまち思い 広島ガスの森」を開設
2020年7月	林野庁と分収造林契約を締結
2020年9月	広島県竹原市仁賀町の森林地を購入し、「このまち思い 広島ガス竹原の森」を開設
2020年11月	広島県神石高原町星居山(ほしのこやま)に「このまち思い 広島ガス神石高原の森」を開設
	「広島県森林組合連合会」と広島県における計画的な森林の伐採、植林、保育による森林保全に取り組むことを目的とした協定を締結
2022年4月	「このまち思い 広島ガス竹原の森」の未利用木材を海田発電所へ木質燃料として供給開始
2023年2月	北海道日高郡新ひだか町に「このまち思い 広島ガス日高の森」を開設
2023年3月	神石高原町石屋山に「このまち思い 広島ガス神石高原の森」を開設



このまち思い 広島ガス神石高原の森(石屋山)

中期経営計画

2023～2025年度 広島ガスグループ中期経営計画では、「都市ガス・LPG事業の深化」「イノベーションの創出」「経営基盤の強化」という3つのポイントにグループの力を結集し、グループ一丸となって、2030年、その先の2050年を見据えた取り組みを積極的に展開していきます。

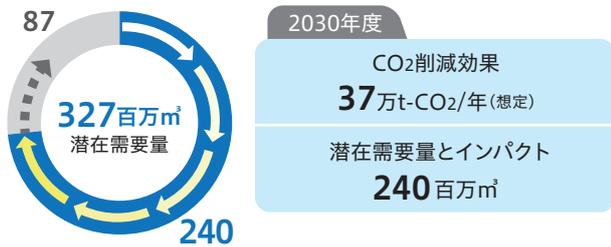
2023年度中期経営計画におけるグループの力を結集するポイント



① 都市ガス・LPG事業の「深化」

● 都市ガス事業の「深化」

石油・石炭などからの燃料転換にグループの力を結集し、計画中の潜在需要(大口)物件を獲得。



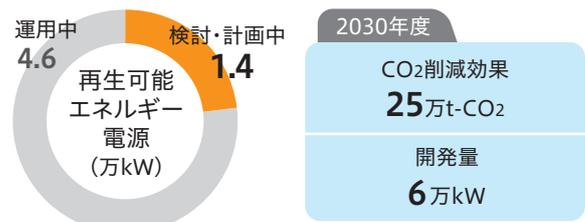
● LPG事業の「深化」

LPガス販売量の獲得(重油からの燃料転換など)。



② イノベーションの「創出」

再生可能エネルギー電源の開発に注力。



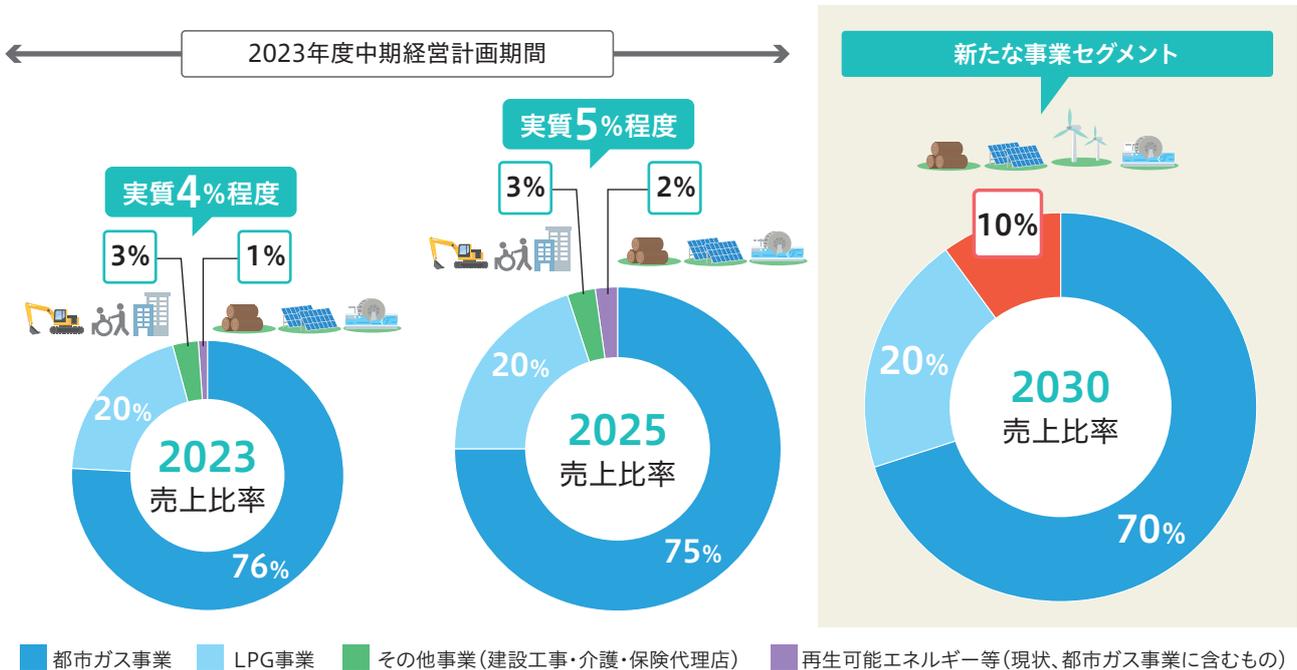
③ 経営基盤の「強化」

人的資本の確保を目的とし、業務改革を実行。

- グループ組織機能 全体最適化
- DXによる効率化
- 要員創出 広島ガスの10%程度
- 営業業務関連
- 導管業務関連
- 既存業務の高度化・効率化
- 3M(ムリ・ムダ・ムラ)の排除
- 2050年カーボンニュートラルに向けて要員配置

事業ポートフォリオについて

再生可能エネルギー電源の開発に注力し、新たな事業セグメントとして確立をめざす。



ガス需給計画

都市ガス事業(家庭用/業務工業用)

- 既存大口需要家が2023年度に事業撤退の予定。
- お客さま先の低・脱炭素化に向けた「石油・石炭からの燃料転換」のさらなる提案により、販売量の拡大をめざす。

都市ガス事業(卸供給等)

- 卸先の販売量の拡大や新規開発を支援し、卸供給量の拡大に取り組む。

LPG事業

- 都市ガスとLPガスの協働営業の強化などにより、工業用などの新規開発営業を推進する。

	2022年度(実績)	2023年度(計画)	2024年度(計画)	2025年度(計画)
都市ガス販売量(家庭用/業務工業用) [百万m ³]	424	420	408	414
都市ガス販売量(卸供給等*) [百万m ³]	88	88	99	85
LPG販売量 [千t]	80	86	90	93

※液売り・CNGを含む。

設備投資計画

都市ガス事業

- ガス販売量の普及拡大に向け安定供給体制を確保するため、中長期的な視点で製造設備および供給設備の増強・改修・入替等を計画的・効率的に実施する。

LPG事業

- コミュニティガス団地*における経年劣化した導管をPE管等の耐震性の高い導管への取り換え促進を実施する。
※道路に埋設されたガス導管でLPガスを供給する団地。

カーボンニュートラル投資(CN投資)

- 再生可能エネルギーの導入拡大や低炭素化などに貢献する投資を実施する。

	2022年度(実績)	2023年度(計画)	2024年度(計画)	2025年度(計画)
広島ガスグループ設備投資合計額(内、CN投資)	86億円(11億円)	111億円(38億円)	76億円(15億円)	68億円(10億円)

TOPICS トピックス

廿日市市との特定送配電事業

2022年8月、廿日市市との間で、「特定送配電事業に関する基本協定書」を締結しました。2023年12月から、廿日市工場のガスコージェネレーションシステムで発電した電気を廿日市市の公共施設に供給する予定です。

本事業は、当社設備の有効利用、送配電先施設のエネルギーセキュリティ向上(BCP電源の確保)および省CO₂などを目的として実施するものです。

今後も、天然ガスの普及拡大、エネルギーの効率的利用により、低炭素社会の実現や、地域の防災力向上に貢献していきます。



基本協定書調印式

住友重機械工業株式会社と LAES 商用実証の共同実施

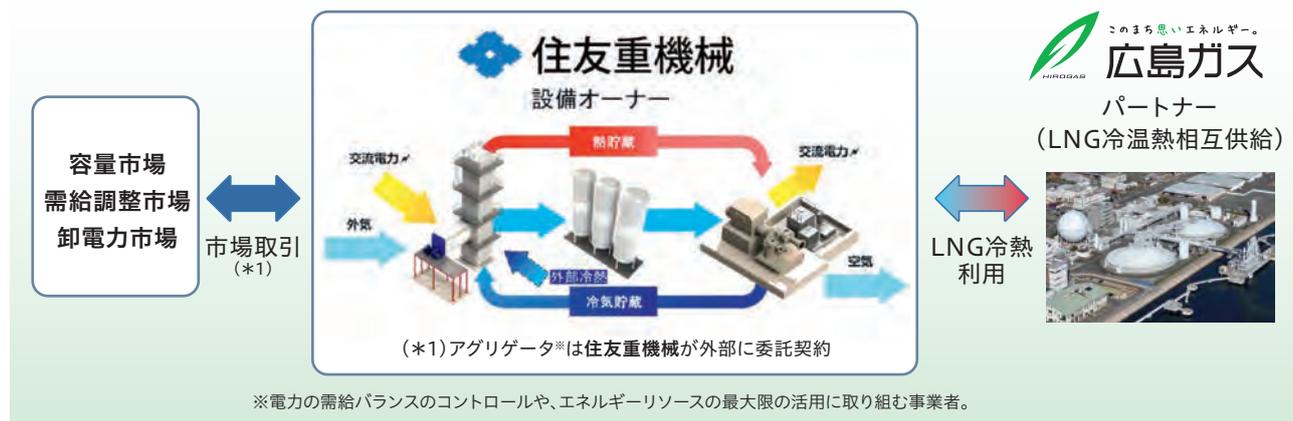
2022年12月、住友重機械工業(株)とパートナーを組み、LAES商用実証の共同実施に関わる「業務提携契約」を締結しました。廿日市工場敷地内に、住友重機械工業(株)が「LAES商用実証プラント」を設置し、実証運転を行います。

LAES(Liquid Air Energy Storage)は、液化空気エネルギー貯蔵技術で、電力を利用し圧縮・冷却して液化した空気をタンクに貯蔵、必要に応じて再気化させ、膨張エネルギーを利用してタービン発電機により電力を供給します。本取り組みにおいて、空気を液化する際の冷却プロセスに、廿日市工場のLNGの冷熱を活用します。

当社は、廿日市工場において、LNGの気化に必要な温水をボイラなどで供給しており、LNGの冷熱を本設備に供給することで、本設備の充電効率の向上に貢献すると同時に、ボイラの省エネ・省CO₂など、LNG冷熱の有効利用を図ります。

本取り組みを通じて、両社は、今後需要の見込まれる蓄電市場を追求するとともに、LNG冷熱の有効活用により、環境負荷の低減とLAESの知見の集積に寄与することで、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

【LAES商用実証の概要】



J-クレジット制度を利用した「エネファームの導入促進による CO₂ 削減事業」

2023年4月から、エネファームのさらなる普及拡大を通じた地域の環境負荷低減への寄与を目的として、「一般住宅への家庭用燃料電池エネファームの導入促進によるCO₂削減事業」を開始しました。

本事業は、国が運営する「J-クレジット制度」のプロジェクトとして登録されており、環境性に優れたエネファームをご使用いただくことにより、CO₂(温室効果ガス)の排出量を削減されたお客さまへのサービスとして、地域環境への貢献を

実感いただくために、エネファームにより削減されたCO₂(環境価値)を当社がお客さまから譲り受け、J-クレジットに換価し、その対価として毎年「広ガスポイント」1,000ポイントを付与するものです。

今後も、エネファームのさらなる普及を通じて、お客さまの安心で快適な暮らしやサービスの充実、地球環境の保全などに貢献していきます。



株式会社広島銀行との広島県内企業のカーボンニュートラル対応支援に向けた業務提携

2023年3月、広島県内企業に対してカーボンニュートラルに関する支援を実施するため、(株)広島銀行と業務提携契約を締結しました。

広島ガスでは、エネルギーに関する専門的な知見を活かし、各社のニーズに応じて、ガス空調、ボイラ、工業炉、コージェネレーションシステムなどのカーボンニュートラルに資する商品・サービスの紹介を含む情報提供や、具体的なお提案を実施します。

(株)広島銀行と当社は、本業務提携契約を第一歩として、それぞれの持つ強みを活かしながら、県内企業のカーボンニュートラルへの取り組み支援を強化し、地域社会全体の温室効果ガス排出量削減への貢献をめざしていきます。

	現状把握	対策検討	計画策定	実践
広島ガス	ニーズ把握、 温室効果ガス 排出量把握支援	温室効果ガス 排出量削減に 向けた対策検討	温室効果ガス 排出量削減に 資する ソリューション提案	カーボンニュートラルに資する 商品・サービス提供 (ガス空調、ボイラ、工業炉、コージェネレーションシステム等)
広島銀行				資金ニーズへの対応 (サステナビリティ・リンク・ローン、グリーンローン等) グループ各社と連携した支援

子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得

2022年8月30日、厚生労働大臣より「子育てサポート企業」の認定を受け、「くるみん認定」を取得しました。

「次世代育成支援対策推進法」では、仕事と子育てを両立できる環境を整備・拡充するため、企業などに対し、「一般事業主行動計画」の策定と届出などを義務付けています。

このたびの認定は、2019年4月1日から2022年3月31日を計画期間とする「一般事業主行動計画」に基づき、「多様で柔軟な働き方への環境作り」「育児休業からの職場復帰支援」「年間総労働時間削減のための取り組み」「次世代育成支援と地域貢献活動」などの取り組みを実施し、目標を達成したことが評価されたものです。

今後も引き続き、仕事と子育ての両立支援を積極的に推進するとともに、従業員の働きやすい職場環境作りに取り組んでいきます。



くるみん認定証受領

